

“第3のはちみつ”の開発と普及による花と蜜のあふれる地域活性化推進事業

埼玉県秩父市

概要

- 秩父地域には20種類以上のカエデが生息しており、このカエデ樹液を蜜源とした特徴あるはちみつを生産するための新養蜂システムを開発し、このはちみつを用いた様々なブランド商品の開発・販路開拓を目指す。



事業の内容

事業内容

事業概念図

森林保全

豊かな森づくり

樹液等の加工

カエデ樹液等

はちみつ化

新規はちみつ

地域の自立・活性化

レストラン
食堂

土産物

観光事業

埼玉大学特許出願

ポイント

多様性豊かな森林整備

- 過疎地域である大滝地域産のカエデ樹液を使用、埼玉大学と連携し特許出願による差別化

事業の成果

- 大滝地域の山林所有者の意識が変化（カエデ樹液の将来性を認識）
- 新規はちみつのブランド品としての可能性がより実現的となる（新聞掲載等により情報を得たところより問合せが多く来ている）

